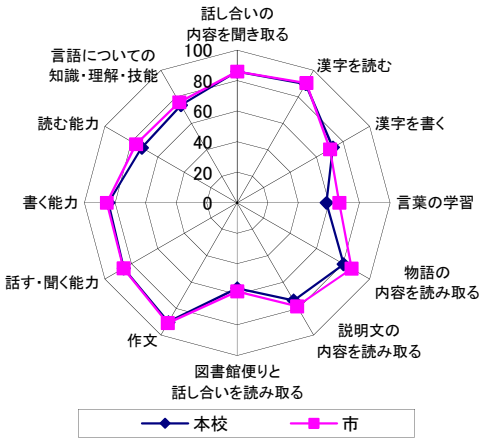
宇都宮市立新田小学校 第６学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	85.9	85.9
	漢字を読む	89.7	90.4
	漢字を書く	72.3	70.1
	言葉の学習	58.4	66.9
	物語の内容を読み取る	80.4	86.5
	説明文の内容を読み取る	73.9	78.4
	図書館便りと話し合いを読み取る	56.0	58.1
	作文	90.2	91.0
観点別	話す・聞く能力	85.9	85.9
	書く能力	84.3	85.4
	読む能力	72.1	76.6
	言語についての知識・理解・技能	73.7	76.0



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	・宇都宮市の平均正答率と本校の平均正答率はほぼ同じであった。 ・「話し手の話し方の工夫を考えながら，話の内容を聞く」設問では，市の正答率を5%上回っている。 ・「自分の立場や意図をはっきりさせながら，自分の意見を述べる」記述式の設問では，市の平均を３．６%下回っている。	・聞く力は育ってきているが，自分の考えをはっきりと表すことに課題があるといえる。 ・スピーチ活動などで，話し手が問題提示を行い，聞き手が自分の考えを明らかにして感想を言うような活動を多く取り入れるようにする。 ・学級活動などで話し合う活動を意識的に取り入れ，学級としての意思決定の場を設けるようにする。
漢字	・宇都宮市の平均正答率と比べ，「漢字を読む」設問では０．７%下回り，「漢字を書く」設問では２．２%上回っている。本校だけに見られる傾向ではないが，読む力と書く力の差が大きい。	・今後も朝の学習の時間や家庭学習で継続して取り組めるように課題を作っていく。 ・自主学習で各自が自分に合った学習の形を見つけ，習熟が図れるように引き続き支援していく。
言葉の学習	・宇都宮市の平均正答率と比べ，８．５%下回っている。設問別には，特に「謙譲語の使い方」の正答率が低く，次いで「尊敬語の使い方」の正答率が低い。	・練習問題に取り組み，知識の定着を図る。 ・毎日の学校生活の言語環境を整え，日ごろから時と場，そして相手に合わせた礼儀正しい言葉づかいができるように指導する。
物語の内容を読み取る	・宇都宮市の平均正答率と比べ，６．１%下回っている。３つの設問別には，登場人物の心情を読み取る設問の正答率が登場人物の様子を読み取る設問より低い。	・読み取りを行う際，根拠となる言葉を明らかにするように指導を続ける。 ・心情の読み取りは，学級の中で伝え合い表現する場面を設定し，言語化することで読み取りの視野を広げられるようにする。
説明文の内容を読み取る	・宇都宮市の平均正答率と比べ，４．５%下回っている。文と文のつながりを考えながら読み取る設問では，市の正答率を上回っている。 ・4つの設問中3つでしの正答率を下回っているが，その差はまちまちである。文章の内容を的確に押さえながら読み取る設問が９．７%で，特に下回っている。	・日常的に正しい言葉遣いができるように指導する。 ・言葉の意味を正しくとらえることができるように指導し，分からない言葉を辞書で調べる習慣が身に付くように支援する。
図書館便りと話し合いを読み取る	・宇都宮市の平均正答率と比べ，２．１%下回っている。 ・設問別には，「資料を正しく読み取り，適切にまとめる」ではわずかに市の平均正答率を下回っているだけだが，「資料と話し合いを正しく読み取る」では，３．４%下回っている。	・話合い活動の中で，相手の意見を受け止めた上で自分の考えを伝えられるように指導する。 ・話合いの中心をとらえて一つずつ考えていけるように，話し合い活動の流れを示し活用を図る。
作文	・宇都宮市の平均正答率と比べ，０．８%下回っている。「指定された長さで文章を書く」では，市の平均正答率を上回っているが，「２段落構成で文章を書く」では，市の平均正答率を２．２%下回っている。	・手紙の形式を繰り返し取り扱い，定着を促す。 ・作文する際，構成を考えてから書き始めることを指導し，定着を図る。 ・文章を書く機会を増やし，段落によって内容のまとまりを表現する方法に慣れさせる。